

# 学位をいただいて

米田 勝彦

白鳳女子短期大学非常勤講師



私は「伝統工芸における皮革製造の技術改善に関する研究」という題目で、学位論文として審査をお願いし、1998年度に学位をいただきました。その後、8年が経過し、本年3月、無事に奈良県職員を定年退職いたしました。生活科学センターと工業技術センターそれに保健環境研究センターとあわせて36年7月勤務いたしました。

学位論文の審査をお願いいたしました経緯を少し振り返ってみたいと思います。工業技術センターで皮革製造の技術改善に取り組んでおりました。特許を6件取得し、その特許はほとんどの鞆し工場で使用され、技術改善への貢献は多大であるということで、組合理事長から感謝状、町長から褒賞状それに近畿通商産業局長から表彰状をいただきました。このような時期に、岡村先生にご指導いただける機会を得ることができました。当時、技術センターでは学位取得者は1人もおらず、学会に投稿した論文をまとめ、学位論文として審査いただければ大変な励みになると思いました。

学位はいただいた年齢によって意味合いが異なると思いますが、学位の取得に挑戦したことによって、多くの先生方にご指導をいただき、人間が大きくなり、人生が豊かになったことに感謝いたしております。

最後の職場となりました保健環境研究センターでは、幸せなことに研究センターで最初となります退職記念講演をさせていただきました。

現在、女子短期大学の非常勤講師として、地球環境論と公衆衛生学を担当させていただき、第二の人生を歩んでおります。このように充実した仕事ができますことは、多くの先生にご指導いただいたお陰と感謝致しております。

奈良県明日香村で生まれ育ち、60年が経過いたしました。大学には高松塚古墳の壁画の修復をされた増田先生がおられ、不思議なご縁を感じております。

(1998年度博士〔学術〕学位授与)